

私のすすめるこの1冊

白井 純子（教職キャリア高度化センター 准教授）

正解のない時代に、対話をひらく「問い」を編む——『問いのデザイン』

安斎勇樹・塩瀬隆之（著）

みなさんは、教育や研究の現場で「うまく対話が噛み合わない」「グループワークで深い意見が出てこない」といったもどかしさを感じたことはないでしょうか。講義やセミナーで意見が出ずに静まり返ってしまったり、会議やプロジェクトの場で目的が曖昧なまま作業だけが進んでしまったりした経験はありませんか。

予測が難しく、多様な価値観が交錯する現代社会では、あらかじめ用意された「正しい答え」を求めるだけでは立ち行かない場面が増えています。今、あらゆる現場で必要とされているのは、人々が当事者意識を持ち、互いの知恵を持ち寄って新たな意味を共に紡ぎ出す「創造的な対話」です。そして、その対話を生み出すための最も強力な触媒こそが、本書で語られる「問い」の力なのではないかと考えます。

本書『問いのデザイン～創造的対話のファシリテーション～』（著：安斎勇樹・塩瀬隆之、学芸出版社、2020年）は、そうした議論の手詰まりを打破し、人々が主体的に考え協働するための「問いの立て方」と「対話の促し方」を、理論と実践の両面から鮮やかに紐解いた一冊です。

著者らは、良い問いとは単なる疑問文ではなく「思考の制約を外し、新たな視点を開く刺激」であると説きます。参加者が当事者意識を持ち、創造的な議論へ踏み出すためには、前提とな

る「問題の定義」そのものを捉え直す＝「問いをデザインする」ことが不可欠なのです。本書では、課題の本質を見極めるリサーチの手法から、議論を深めるワークショップの設計、衝突を学びの力に変えるファシリテーションの極意まで、非常に具体的な解説がなされています。

本書の大きな魅力は、ビジネスの現場だけでなく、大学内や学校現場にもダイレクトに応用できる点にあります。授業での問いかけ一つ、研究室での対話ひとつで、学びの深まりや主体性は劇的に変わります。学生の皆さんには、卒業研究における「リサーチクエスション（問い）」の設定やゼミでの議論、就職活動での課題解決ワークなど、自ら考える力と協働する力を飛躍的に高めてくれる実践的なヒントが詰まっています。また、社会に出てからも、意思決定や組織（チーム）づくり、各種連携やプロジェクト運営など「人が集まり、何かを生み出す場」をより良くするための強力な羅針盤となります。

教育や研究に携わる私たち自身が、「問い」の質を吟味し、対話を耕すこと。それが、これから生きる人たちに「学びの楽しさ」を伝える第一歩になるのではないのでしょうか。

授業の組み立てに悩んだとき…、チーム運営をよりよくしたいと思ったとき…、そして自ら考える力を高めたいと感じたとき…、ぜひ、手に取ってみてください。





夏季休暇に伴う長期貸出について

学部生：7月 26 日(日)～9月 18 日(金)
 院生・教職員：7月 11 日(土)～9月9日(水)
【返却期限日】 10月8日(木)
 ※卒業・修了予定者は9月10日(木)まで



9月卒業・修了生の貸出期限の延長について

2026 年9月末で本学を修了する予定の方(科目等履修生・研究生・特別聴講生を含む)は、貸出期限、および返却期限日が9月10日(木)になっています。資料を借りている方は、忘れずに返却してください。
 ただし、9月11日(金)以降も貸出を希望される場合は、所定の手続きで、9月30日(水)まで貸出延長できます。カウンターでお尋ねください。
 図書館への入館・閲覧については手続き不要で、9月30日(水)まで利用可能です。

おすすめ本紹介原稿を募集します！

あなたのおすすめ本を紹介しませんか？

図書館に所蔵されている本の中から、皆さんの愛読書や心に残っている一冊を紹介してみませんか。

寄稿いただいた原稿は、図書館ニュースに掲載いたします。

【文字数】300～400 字程度

【校正】1 回のみ

【提出方法】原稿を Word ファイルで作成し、メールに添付して library@kyokyo-u.ac.jp 宛てにお送りください。

【掲載方法】掲載の可否・編集については図書館にご一任ください。

皆さんからのご投稿お待ちしております！



第 3 回の投票結果を南館 1 階渡り廊下に掲示しています！



リクエストと投票で話題の本を読もう！

学習研究以外のリクエスト本を一定期間掲示し、皆さんの投票で購入する本を決定する企画です。
 ※結果によっては購入できないこともあります。
 ※学習研究目的のものは原則として購入していません。

次回(第 4 回)の投票期間は
10 月 1 日(木)～10 月 30 日(金)
 です。

皆さんの投票お待ちしております！



製本作業による雑誌の利用制限について

南館 1 階にある雑誌のうち 2025 年の発行分を中心に、一部が製本作業のため、9 月上旬頃から利用できなくなります。製本後はすべて西館 3 階電動集密書架に配架しますので、そちらをご利用ください。

※詳細についてはカウンターまで



企画展示室の利用について

北館 1 階の企画展示室は、学生や先生の研究発表・作品展示の場所として利用できます。是非ご活用ください。



※申込み・問い合わせは
図書館事務室まで



電子 BOOK のポスターを掲示しています

購入した電子書籍のポスターを、「新着図書コーナー」横で展示しています。

各ポスター下側にある QR コードは切り離し可能ですので、読みたい本 / 興味がある本があれば切り取ってお持ち帰りください。なお、スマホや学外から電子書籍を利用する際は「学認でサインイン」を選択し、学内アカウントの ID・パスワードを入力してご利用ください。



<開催のお知らせ> ※本学は連携参加大学です

第 14 回 京都・大学ミュージアム連携スタンプラリー

9 月 19 日(土)～2027 年 2 月 23 日(火・祝)

児童書コーナー(南館 1 階)



今月の絵本カード(学生作)
『11 ぴきのねこ ふくろのなか』
作: 馬場 のぼる
出版社: こぐま社



※
児童書コーナーに
かわいいカードが
飾られています。
ぜひ見に来てくだ
さい。

教育資料館 まなびの森ミュージアム

【9 月の開館日時】

7 日(月)、14 日(月)、28 日(月) 14:00～17:00



今月の逸品(8～9 月)

『平安通宝』

展示場所: 附属図書館

教育資料館 まなびの森ミュージアム
<https://www.kyokyo-u.ac.jp/museum/>

論のくちび理のむすび

今回の執筆者 田中 道治 (本学名誉教授)

子どもの自己概念形成に及ぼす知能の影響

田中 道治

京都教育大学紀要 2026, No.148, pp.1-17
URI: <http://hdl.handle.net/20.500.12176/10096>



2007年4月から開始された日本の特別支援教育という新たな教育システムは、現在20年の節目を迎えようとしています。一人ひとりの子どもの教育ニーズを踏まえた学校教育の展開という画期的な教育制度であり、「学校教育と子どもの発達との相互作用」を重視するものです。何よりも「全人的な」子どもあるいは「まるごととらえる」子どもとして教育を進めていく日本の教育と言えます。そこで本研究では「全人的な」子どもの見方から、子ども自身の評価による「自己概念」に焦点を当て最近の知能観及びその測定結果と関係付けて、新たな教育システムの状況と課題を分析検討します。自己概念は多次元尺度を用い、学習・対人関係・運動・身体的外見・行動・自己価値などの6側面から評価します。

諸事例は、通常学級在籍で標準的知能を有す子ども、特別支援クラスに在籍し主に個別指導対象の標準的知能の子ども及び知的障害の子どもです。結果としてほとんどの子どもに6側面からなる自己理解・評価得点にアンバランスさが示され、学習あるいは遊びを通じた友だちとの交流経験による自己への気付きや評価の必要性が示唆されました。また主に普段の学習や活動に含まれる知能、すなわち認知処理能力もバランスを欠いてはいるものの十分関与し、自己と他者との比較に含まれる同時処理知能あるいは学習変化の認知という継次処理能力の関与も明らかでした。発達の主人公として、一人ひとりの子どもが学校教育の中で自分自身を「得意や不得意」「良さや課題」「自慢や苦手」等から理解し評価できるような集団活動・交流が望まれます。

※本タイトルの論文は京都教育大学紀要148号に掲載されています。

※京都教育大学リポトリ「クエリ(KUERe)」の森<https://ir.kyokyo-u.ac.jp/>に掲載されています。

開館日程 □9:00-20:00 ■9:00-17:00 ■10:00-17:00
■9:00-21:00 ■休館(CLOSED)

2026年9月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

9/2 館内整理日

2026年10月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

10/1 後期授業開始
10/17 大学院入試

※開館日程につきましては、変更となる場合がございますのでホームページをご確認ください。

●京都教育大学附属図書館ホームページ→
<https://www.kyokyo-u.ac.jp/library/>



← 公式 Instagram

アカウント名称: 京都教育大学附属図書館
ユーザーネーム: @kyotokyoikuunivlib

京教図書館 News No.312 (2026年9月号)

発行日: 2026年9月1日

編集発行: 京都教育大学附属図書館

問い合わせ先: library@kyokyo-u.ac.jp

